

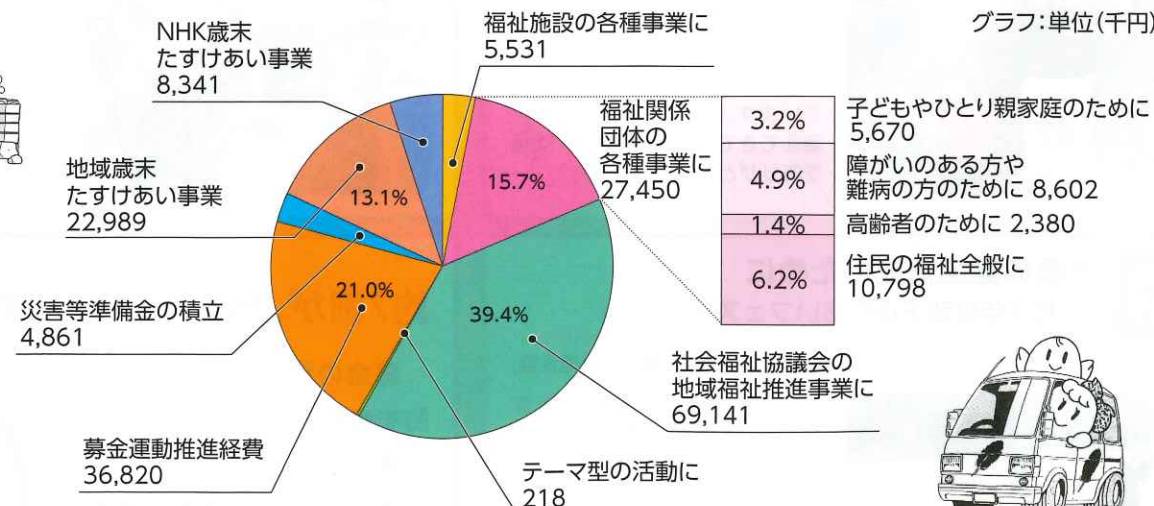
令和7年度共同募金助成結果報告

昨年度の共同募金は、県民の皆様のあたたかいご支援とご協力により、
募金総額は **1億6,216万5,863円** となりました。

ここに厚くお礼申し上げますとともに、助成結果についてご報告させていただきます。(※助成金の一部は繰越金等を充当しています)。



福祉施設への助成 5,531千円 障がい者の自立のための社会訓練、地域との交流事業などに	福祉団体への助成 27,450千円 障がいのある方の社会参加促進支援やボランティアとの交流会、高齢者の生きがいづくり、保育・子育て相談、難病相談などに	社会福祉協議会への助成 69,141千円 ふれあいサロンの運営や福祉マップの作成、地域見守り、移動困難者への生活支援サービス、地域ボランティア活性化、地域子育て支援などに	テーマ型の活動への助成 218千円 地域や社会の解決したい課題を明確化して行う募金活動(テーマ型)により、豪雪地域の高齢者宅の除雪や、地域食堂の起ち上げを支援する活動に
募金運動推進経費 36,820千円 運動資材作成や広報活動、審査会開催、事務局の運営費、全国的に運動を展開するための中央共同募金会分担金などに	大規模災害に備えた積立金 4,861千円 募金総額の3%を上限に積立て、大規模災害が発生した場合、全国から駆け付けるボランティアの活動費や被災した福祉施設の破損復旧などに	地域歳末たすけあい助成 22,989千円 在宅で暮らす高齢者や障がいのある方への給食サービスやお見舞い、地域が主体となって行う、いきいきサロンやふれあい会食会などの地域ふれあい交流などに	NHK歳末たすけあい助成 8,341千円 福祉施設が行う年末年始のふれあい行事、障がいのある方々が就労するための備品整備など地域福祉課題を解決する事業などに



お問い合わせはこちら または、あなたのまちの共同募金委員会へ
社会福祉法人 富山県共同募金会
 〒930-0094 富山市安住町5番21号

Tel 076-431-9800 Fax 076-432-6551
 info@akaihane-toyama.or.jp
 http://www.akaihane-toyama.or.jp



10周年

ありがとう。
これからも一緒に。



どんな時代にも、そこには支える人たちがいました。
 赤い羽根は、支える人たちを応援し続けて80年。
 今日、この街のどこかで、支えあいを未来へとつないでいます。

支える人も支える募金
赤い羽根共同募金



社会福祉法人
富山県共同募金会

令和8年度の目標額 **188,596,000円** 共同募金への寄付には税制上の特典があります。

内訳■一般募金 154,596,000円 (福祉施設や団体の事業に30,781,000円/地域福祉推進事業に79,742,000円/災害時に備えた積立に5,493,000円/運動推進経費 38,580,000円)

■NHK歳末たすけあい募金 13,000,000円 ■地域歳末たすけあい募金 21,000,000円

会社など法人の寄付金は、全額損金算入できます。個人の寄付金は、所得税の寄付金控除および住民税の寄付金税額控除が受けられます。詳しくは本会までお問い合わせください。



笑顔とともに、たくさんの「ありがとう」の声が届いています。



●●●● 寄付者の方々へのメッセージ（令和7年度事業より） ●●●●

共同募金の助成を受けた福祉施設や団体から、たくさんの感謝の声が寄せられていますので、その一部をご紹介します。



子どもたちに絵を描く楽しさを伝えるために 「富山子ども大会 児童クラブ絵画展」

（富山市 富山県児童クラブ連合会）



コロナ禍から始まった絵画展も、多くの皆様に支えられ継続できています。参加していた子どもたちが中学生となって再び参加する姿に成長を感じています。助成金のおかげで、子どもたちに絵を描く楽しさを伝えることができました。ありがとうございました。



みなさんの笑顔のために 「高齢者訪問支援活動事業」

（高岡市 高岡市老人クラブ連合会）



米寿の女性の方に「元気の秘訣は何ですか？」とお伺いすると「規則正しい生活をし、天気の良い日は必ず外出します」とのこと。頻りに公共交通機関を利用してイベントに行かれるそうです。また、「家庭菜園で身体を動かし収穫した野菜を知り合いにお裾分けすることが生きがい」と穏やかな笑みを顔一杯に広げて話されることもありました。支援活動は出会い、学びが多々あり勇気づけられます。今後も楽しく続けていきたいです。



「遊び」を通し親子で絆を深めるために 「子育て親育て支援事業」

（魚津市 おやこ劇場 フェアリーキッズ）



日々時間に追われ、失われがちな親子で向き合う時間を作るため「親子の遊びワークショップ」を開催しました。乳幼児～青年までの幅広い世代の親子が、遊びを通して交流を深め、心と身体をほぐし、気軽に繋がれる場となりました。ありがとうございました。



安全で安心な地域社会を築くために 「公開ケース研究会」

（氷見市 氷見保護司会）



公開ケース研究会は、市内中学1年生を対象に、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について生徒が理解を深め、安全で安心な地域社会を築くことを目的としています。皆様の温かいご支援により、無事に開催することができ、生徒たちの理解が深まりました。ご支援ありがとうございました。



多文化共生の地域づくりのために 「外国人のための日本語教室」

（滑川市 たのしい日本語ひろばin滑川）



在住外国人の方々が安心して日本で生活できるよう、日本語教室を開いたり、一般市民と交流を深めたりしています。外国人からは、「日本の文化や、日常生活上のルールを学ぶことができた」という喜びの声が聞かれました。また、地域行事等を通じて一般市民と外国人との国際交流を図ることができ、相互理解が深まったと感じています。ご支援を賜り深く感謝申し上げます。



幅広い世代との交流・居場所づくりのために 「こども食堂ワークショップ あつまれくらべ」

（黒部市 特定非営利活動法人 黒部まちづくり協議会）



食事の提供のみならず、子どもたちへの学習支援や幅広い年齢層との交流・居場所づくりに取り組んでいます。令和7年度は6回のこども食堂の開催のほか学習会や制服お譲り会も開催することができ、沢山の方に参加いただきました。温かいご支援ありがとうございました。



民生委員児童委員活動の発展を目指して 「民生委員児童委員部会活動」

（砺波市 砺波市民生委員児童委員協議会）



栃木県鹿沼市民生委員児童委員協議会連合会と交換研修会を実施しました。日頃の活動内容の紹介や災害時の対応について意見交換会を行い、今後の活動に生かしたいと思えます。温かいご支援ありがとうございました。



“福祉のこころ”を広げるために 「福祉教育推進事業」

（小矢部市 小矢部市社会福祉協議会）



市社会福祉大会において、児童・生徒が取り組む実践発表を行っています。また、福祉作文集や市内各校の活動をまとめた冊子を来場者に配布しています。子どもたちの活動を知ることによって、“福祉のこころ”が広がることを願っています。ありがとうございました。



「見た目問題」への理解啓発のために 「障害があっても、見た目がちがっても」

（南砺市 SmileyTomorrow）



障害や見た目、社会にはいろんな人がいることを知ってもらいたくイベントを開催。障害があるから可哀そうな存在ではなく、理解してくれる人がいれば自分の才能を発揮して生きていくことができる。皆様の募金により開催でき、心より感謝申し上げます。



誰もがスポーツを楽しむために 「サウンドテーブルテニスの練習会」

（射水市 射水市視覚障害者協会）



皆様の温かいご支援のおかげで私たちはサウンドテーブルテニスの練習、各種大会への参加ができています。仲間と熱いラリーを交わす時間は、心を通わせる大切な場です。この善意を大切に今後も笑顔の輪を広げてまいります。



通いの場づくりのために 「通いの場普及支援事業」

（舟橋村 舟橋村社会福祉協議会）



助成金により、笑いヨガ、防犯講座など各サロンの要望に合わせた講師を呼ぶことができ、参加者の皆さんに楽しんでもらえました。高齢者が外に出るきっかけになり、貴重な交流の機会になっています。参加者も以前に比べ、増えてきています。温かいご支援をありがとうございました。



地域交流と地域貢献のために 「地域交流事業 パン作り体験」

（上市町 ワークハウス鯉）



町内の小学生と高校生に呼びかけ、事業所でパン作り体験を行いました。利用者も子ども達との交流を楽しみにしていました。パンが焼ける間話教室やアイマスク体験を行い、障害者理解と事業所活動を知って頂く機会として、地域交流を深めることができました。



ふれあいサロン活動の充実のために 「ふれあいサロン充実事業」

（立山町 立山地区社会福祉協議会）



健康・仲間づくりを目的に開催しているサロン活動の内容充実のため、小物づくりの材料費等に活用させていただきました。地域活動の基本である「顔の見える関係づくり」のために今後も、サロン活動を継続していききたいと思います。ご支援ありがとうございました。



障がい福祉の向上と会員相互の親睦・資質向上の為に 「ふれあい研修交流事業」

（入善町 なつめ会）



助成をいただき、会員がより良いケアについて楽しく学ぶ機会を持つことができました。この学びを今後の活動に活かし、障がい福祉の向上とより一層やさしさがあふれる地域づくりを目指し活動に励みます。皆様の温かいご支援をありがとうございました。



児童の健全育成のために 「令和7年度親子ふれあいフェスティバル」

（朝日町 朝日町児童クラブ連合会）



ペットボトルロケットを作り、飛距離を競います。ロケットを作製する工程は、創造力や集中力を身に付けさせ、一緒にロケットを完成させる体験は、親子交流につながります。皆様のご支援により、事業を実施できました。ご支援いただきありがとうございました。

約7割が、あなたの町に届いています。

募金の約7割は、あなたの町を良くするために使われています。

残りの約3割は市町村を越えた広域での活動や災害時の備えなどに使われています。

